

ふりがな 氏 名	つじ みちこ 辻 美智子	職 名	講 師
取 得 学 位	博士(医学)	学会での受賞歴	食生活研究会誌優秀論文賞 (2018/05/09) 日本家政学会中部支部大会発表奨励賞 (2019/09/14)
主な担当科目	公衆衛生学、公衆衛生学実験、調理科学実験、アカデミックスキルズ、卒業研究		
所 属 学 会	日本疫学会、東海公衆衛生学会、日本家政学会、日本調理科学会、日本栄養改善学会 日本癌学会、日本がん疫学・分子疫学研究会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
1) 授業用 IT 教材の作成	2015年4月 ～現在	「公衆衛生学実験」(2020年4月～)、「調理科学実験」,「フードプロセス実験」(～2019年3月)の授業用 IT 教材を作成した。授業内容に対する理解を深めるため、スライド教材をパワーポイントにて作成し、授業補助教材として使用した。得られた実験結果に対して、科学的根拠に基づいた考察を行い理解の向上を図った。
	2017年4月 ～現在	「公衆衛生学」(2019年4月～)、「調理学」(～2018年3月)、の授業用 IT 教材を作成した。授業内容に対する理解を深めるため、スライド教材をパワーポイントにて作成し、科学的根拠に基づいた内容及び最新のデータを提示することで知識の定着化を図った。
2) テキスト冊子の作成	2016年4月 ～現在	「公衆衛生学実験」(2020年4月～)、「調理科学実験」,「フードプロセス実験」(～2019年3月)の授業用教材を作成した。授業内容に対する理解を深め、事前学修として実験の目的や操作を予習するために、全 15 回分の内容をテキスト(冊子形式)に作成し、学生に配布した。
3) アクティブ・ラーニングの導入	2017年4月 ～現在	授業内容に対する理解を深めるため、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を実施した。「公衆衛生学実験」(2020年4月～)、「調理科学実験」,「フードプロセス実験」(～2019年3月)において、学生による実験結果のプレゼンテーションを実施し、主体的に学修する機会を設けた。
4) 学修ポートフォリオの導入	2017年4月 ～現在	「公衆衛生学」(2019年4月～)、「調理学」(～2018年3月)において、授業外における主体的な学修として、ネットワークを利用した学修 e ポートフォリオを導入し、学生の予習・復習を促す取り組みをした。
5) ルーブリック評価の導入	2017年4月 ～現在	「公衆衛生学」(2019年4月～)、「公衆衛生学実験」(2020年4月～)、「調理科学実験」,「フードプロセス実験」(～2019年3月)における学業成績は、ルーブリックに基づいて評価した。学生に評価の可視化をすることにより、自身の到達度が把握でき、理解を深める取り組みをした。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所/誌名・巻号/学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	全集 伝え継ぐ 日本の家庭料理 炊きこみご飯・おにぎり	共	2019/11	(一社) 農山漁村文化協会	企画・編集:(一社) 日本調理科学会 全 128 ページ中、かきまわし(p.55)を執筆
	全集 伝え継ぐ 日本の家庭料理 小麦・いも・豆のおやつ	共	2019/11	(一社) 農山漁村文化協会	企画・編集:(一社) 日本調理科学会 全 128 ページ中、みょうがぼち(p.24-25)を執筆
	調理学実験書 - おいしさのメカニズムを探る -	共	2021/3	株式会社 光生館	編著者:小川宣子、真部真里子 執筆者:江口智美、辻美智子、山口智子、吉村美紀、菅野友美、大田原美保、野田奈津実 全 155 ページ中、計量(p.16-21)、肉に関する実験(p.52-53, 56-57)、豆・いもに関する実験(p.74-83)を執筆
著書	全集 伝え継ぐ 日本の家庭料理 年取りと正月の料理	共	2021/12	(一社) 農山漁村文化協会	企画・編集:(一社) 日本調理科学会 全 128 ページ中、鮎なれずし(p.54-55)を執筆
論文	Soy Isoflavone Intake and Bladder Cancer Risk in Japan: From the Takayama Study.	共	2018/11	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 27(11):1371-1375.	Wada K, <u>Tsuji M</u> , Tamura T, Konishi K, Goto Y, Mizuta F, Koda S, Uji T, Hori A, Tanabashi S, Matsushita S, Tokimitsu N, Nagata C.
	The Hekinan Children's Study: Design and Profile of Participants at Baseline.	共	2019/7	J Epidemiol. 5:29(7):272-277.	Nagata C, Wada K, Sahashi Y, Tamura T, Konishi K, Goto Y, Yamakawa M, Koda S, Mizuta F, Uji T, Nakamura K, <u>Tsuji M</u> , Nagai H, Itakura N, Harada K, Takahara O, Yamanaka H.
	Green tea intake and colorectal cancer risk in Japan: the Takayama study.	共	2019/1	Jpn J Clin Oncol. 1:49(6):515-520.	Wada K, Oba S, <u>Tsuji M</u> , Goto Y, Mizuta F, Koda S, Uji T, Hori A, Tanabashi S, Matsushita S, Tokimitsu N, Nagata C.
	Associations of Cell Phone Use and Screen Viewing with Overweight in Children.	共	2019/10	Child Obes. 15(7):417-425.	Wada K, Yamakawa M, Konishi K, Goto Y, Mizuta F, Koda S, Uji T, Tamura T, Nakamura K, <u>Tsuji M</u> , Nagai H, Itakura N, Harada K, Takahara O, Yamanaka H, Nagata C.
	Effect of dietary nori (dried laver) on blood pressure in young Japanese children: an intervention study.	共	2021/1	J Epidemiol. 5:31(1):37-42.	Wada K, <u>Tsuji M</u> , Nakamura K, Oba S, Nishizawa S, Yamamoto K, Watanabe K, Ando K, Nagata C.

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所／誌名・巻号／学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
学会発表	豆腐のみそ漬けにおける調理特性の変化 (示説発表)	共	2018/5	日本家政学会第70回大会要旨集, p.64	<u>辻美智子</u> 、岩田さくら、北村美奈弥
	アマランサス粉を主原料としたグルテンフリーパンの製パン性 (示説発表)	共	2018/9	日本家政学会中部支部第63回大会要旨集, p.32	<u>辻美智子</u> 、川合珠乃、古池遥香、坂口友里恵 日本家政学会中部支部大会発表奨励賞(2019/09/14)
	幼児における海苔摂取の介入研究－血圧値に与える効果の検討－ (示説発表)	共	2019/1	第29回日本疫学会学術総会講演集, p.126	和田恵子、 <u>辻美智子</u> 、中村こず枝、大土早紀子、山本景子、渡辺香織、安藤京子、永田知里
	おからを主原料としたクッキーの調理特性に及ぼす豆乳添加の影響	共	2019/7	日本調理科学会 東海・北陸支部 第15回研究発表会要旨集, p.12	<u>辻美智子</u> 、石川水穂
	クッキーの物性に及ぼす大豆粉の影響	共	2019/8	日本調理科学会 2019年度大会要旨集, p.77	<u>辻美智子</u> 、浅野有里加、亀井はるか、源馬志帆理
	小学一年生における食べる速さと肥満との関連	共	2021/1	第31回日本疫学会学術総会講演集, p.140	中島佑麻、和田恵子、山川路代、宇治敬浩、大沼紗希子、 <u>辻美智子</u> 、田村高志、中村こず枝、板倉尚子、高原理、永井秀、原田公、山中寛紀、永田知里
	中部支部若手の会における活動のあゆみと特徴	共	2021/5	日本家政学会中部支部第73回大会要旨集, p.76	<u>辻美智子</u> 、福岡恩、内田有紀、小田奈緒美、山口厚子
	学童期の食物繊維摂取と3年後の空腹時血糖、体重変化の関連	共	2022/1	第32回日本疫学会学術総会講演集, p.133	和田恵子、山川路代、中島佑麻、小多沙知、宇治敬浩、大沼紗希子、 <u>辻美智子</u> 、永田知里
	Associations of fruits and vegetables intake with blood pressure levels in Japanese male workers (示説発表)	共	2022/8	The 8th Asian Congress of Dietetics Abstract book, p.199	<u>Michiko Tsuji</u> , Kimi Sawada
	The history of young people's associations within the Japan Society of Home Economics and the characteristics of their activities (示説発表)	共	2022/9	International Federation for Home Economics (IFHE) XXIV World Congress Abstract book, p.88	Naomi Oda, <u>Michiko Tsuji</u> , Megumi Fukuoka, Yuki Uchida, Atsuko Yamaguchi

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発行・ 発表 年月(日)	発行所／誌名・巻号 ／学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	Associations of soy food intake with menopausal symptoms, including hot flushes, in Japanese women (示説発表)	共	2022/12	22ND IUNS-ICN International Congress of Nutrition in Tokyo, Japan Program book, p.179	<u>Michiko Tsuji</u> , Keiko Wada, Chisato Nagata
その他 (外部的 資金)	雑穀粉と複合化による新規大豆粉 利用食品の開発とその機能性評価	単	2017～ 2020	文部科学省 科学研究費助成事業 若手研究 (B)	<u>辻美智子</u>